

## (謝 辞)

本研究は水産庁の特定研究開発促進事業によって行われたもので、水産庁研究指導課関係各位に謝意を表します。養殖研究所飼育環境技術部餌料生物研究室の鈴木満平博士にはご指導とご校閲を頂き、坂見知子博士には研究サンプルを頂いた。研究を実施するにあたって、前支場長村越正慶博士（現・沖縄県栽培漁業センター）にはご助言を頂き、現支場長の川崎一男氏をはじめ職員の方々には特段のご高配頂いた。測定にあたっては池之内晴美氏、長谷川毅彦氏、資料整理にあたっては下地良男氏に協力して頂いた。ここに感謝の意を表します。

## VI. 引用文献

- 1) 玉城 信・下地良男・古川 凡・呉屋秀夫 (1998) : 貝類増養殖試験. 平成 8 年度沖縄県水産試験場事業報告書, 130-146.
- 2) 玉城 信・長谷川毅彦 (1997) : 有用藻類バイオテクノロジー基礎技術開発研究. 平成 7 年度沖縄県水産試験場事業報告書, 187-189.
- 3) 玉城英信 (1996) : 平成 3 - 7 年度特定研究開発促進事業総括報告書 (微小藻類の大量培養技術開発研究). 沖 2 pp.
- 4) 佐々 勤 (1965) : 微細藻類の生育. 藻類実験法 (田宮 博・渡辺 篤編), 南江堂, 東京, pp. 185-202.
- 5) 有賀祐勝 (1979) : 生長の測定. 藻類研究法 (西沢一俊・千原光雄編), 共立出版, 東京, pp. 274-280.
- 6) 石居 進 (1975) : 生物統計学入門. 培風館, 東京, pp. 29-70.
- 7) 喜田和四郎・谷口三津夫 (1992) : トサカノリ. 水産学シリーズ 88 食用藻類の栽培 (三浦昭雄編), 恒星社厚生閣, 東京, pp. 128.
- 8) 村越正慶・勝俣亜生 (1979) : シャコガイの増養殖に関する試験研究-V. 昭和 53 年度沖縄県水産試験場事業報告書, 115-117.
- 9) 坂見知子 (1994) : サンゴ共生藻単離培養株に対する水温、塩分、光の影響. 平成 6 年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, pp. 84.
- 10) 渡辺 篤 (1965) : 微細藻類の分離法. 藻類実験法 (田宮 博・渡辺 篤編), 南江堂, 東京, pp. 24-45.
- 11) 岩崎英雄 (1979) : 分離の一般操作. 藻類研究法 (西沢一俊・千原光雄編), 共立出版, 東京, pp. 177-189.
- 12) 村越正慶 (1988) : シャコガイ類. サンゴ礁域の増養殖 (諸喜田茂充編), 緑書房, 東京, pp. 248-261.
- 13) 安楽正照 (1986) : シャコガイと共生藻. 海洋と生物, 42, 8-12.

- 14) 河地正伸 (1993) : 渦鞭毛藻 : ギムノディニウム目 *Symbiodinium microadriaticum* Freudenthal. 藻類の生活史集成第3巻単細胞性・鞭毛藻類 (堀 輝三編), 内田老鶴圃, 東京, pp. 24-25.
- 15) 堀口健雄 (1997) : 共生と寄生. 藻類多様性の生物学 (千原光雄編), 内田老鶴圃, 東京, pp. 99-101.
- 16) 川口四郎 (1990) : 造礁サンゴの共生藻. 川崎医療短期大学紀要第10号, 3-8.
- 17) 大城信弘・宇佐見智恵子 (1992) : 貝類増養殖試験. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書, 190.